

【概要】

JT-aPIER は、道路橋示方書・同解説 I 共通編、V 耐震設計編(平成 29 年 11 月)、道路橋の耐震設計に関する資料(平成 9 年 3 月)および(平成 10 年 1 月)に基づき、静的解析による鉄筋コンクリート橋脚の耐震検討を行います。

【特長】

- ①構造形式は多層多柱式橋脚、単柱式橋脚に対応しています。
- ②耐震補強工法は RC 卷立て工法、鋼板巻立て工法、繊維材巻立て工法より選択できます^{※1}。
- ③ラーメン式橋脚の軸力変動を考慮した計算方法を採用しています。
- ④主鉄筋の定着を考慮できます。
- ⑤断面形状は以下に対応しています。

◆矩形 ◆円形 ◆小判形 ◆台形

⑥断面形状、鉄筋配置等により、降伏剛性や塑性ヒンジ点の N – M_{ls} 相関曲線、N – φ_{ls} 相関曲線などを内部で自動計算します。

⑦ラーメン式橋脚の場合、全体系限界状態 2(3)の判定方法は以下より選択できます。

- ◆指定数の塑性ヒンジ点が限界状態 2(3)に達したとき
- ◆降伏した塑性ヒンジ点がすべて限界状態 2(3)に達したとき

⑧水平震度は以下に対応しています。

- ◆設計水平震度の直接入力
- ◆固有周期の直接入力
- ◆橋脚単独の固有周期計算により算出

※1 適用基準「道路橋示方書(平成 14 年 3 月)」のみに対応しています。

【製品価格】

| | 税込 | 税抜 |
|-----------------------------|---------|-----------|
| 使用許諾料 | 1 ライセンス | 770,000 円 |
| 追加ライセンス料 | 1 ライセンス | 165,000 円 |
| 問合せサポートサービス会費 ^{※2} | 年間(任意) | 77,000 円 |
| | | 70,000 円 |

※2 「問合せサポートサービス会員登録」をされたお客様に限り、製品や運用上のサポートをご提供するサービスです。

【制限】

| | | | |
|----|-------------------|-----|--------|
| 層数 | 2 層 ^{※3} | 格点数 | 800 格点 |
| 柱数 | 10 柱 | | |

※3 2 層の場合、上部工の荷重は上層梁のみに載荷できます。

【ライセンス認証】

インターネット認証

インターネット認証とは、インターネットを介して認証・管理するプロジェクト方式です。

| | |
|----------------------------|--------------------|
| マルチユーザライセンス ^{※4} | 複数の PC で利用可能(事業所内) |
| シングルユーザライセンス ^{※5} | 単一の PC で利用可能(事業所内) |

※4 マルチユーザライセンスとは、ライセンスサーバに登録したライセンス情報の範囲で、複数のクライアント PC から同時に製品を起動できる運用方法です。

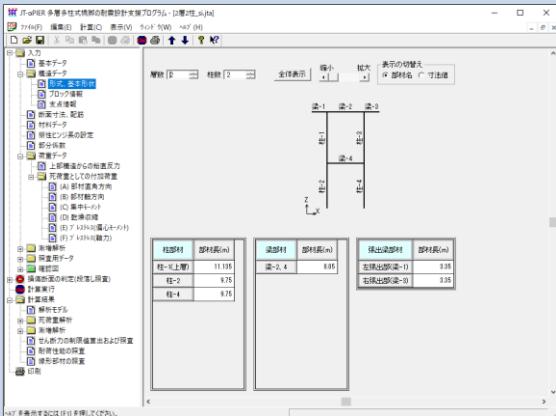
※5 個々の PC に対してライセンスを登録し認証する運用方法です。特定 PC1 台のみのライセンスが有効となります。

【動作環境】

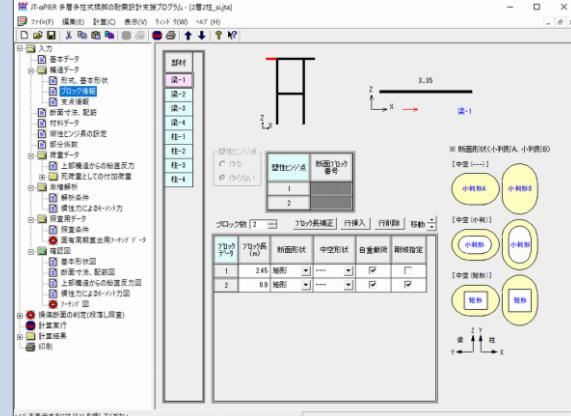
Windows 10/11

Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

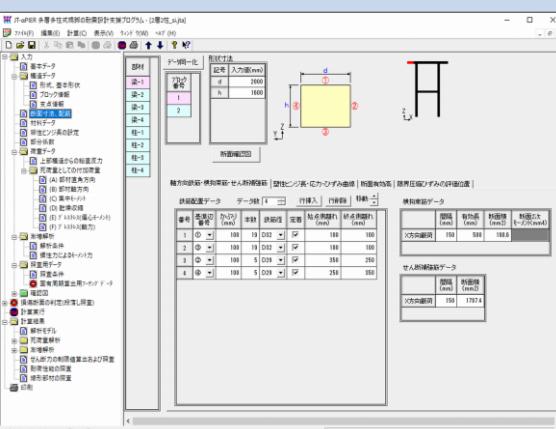
【画面例】



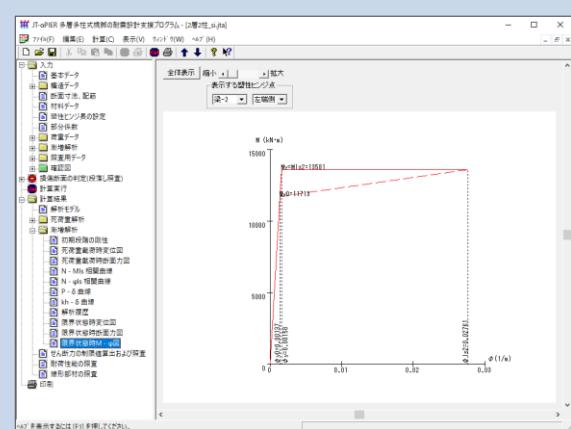
入力／構造データ形式、基本形状



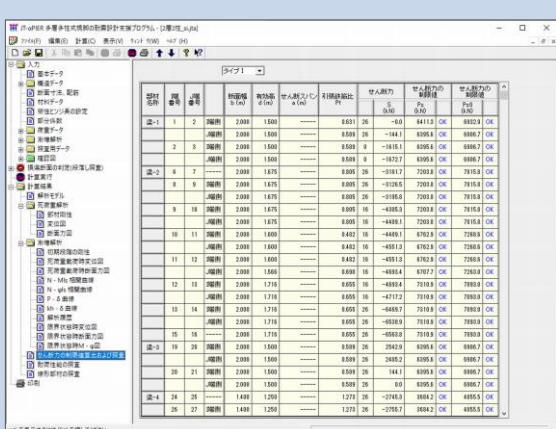
入力／構造データブロック情報



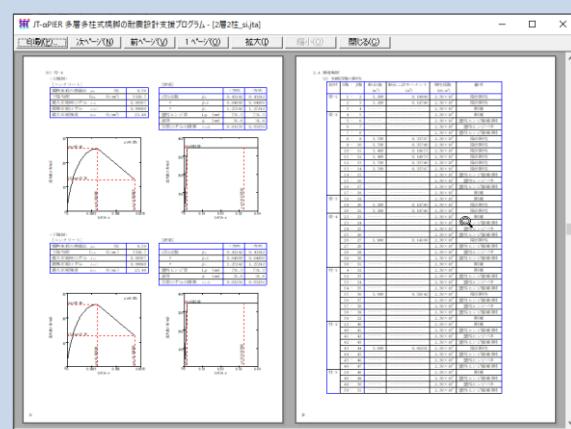
入力／断面寸法、配置



計算結果／漸増解析 - 限界状態時 M-φ 図



計算結果／せん断力の制限値算出および照査



計算結果帳票／応力度 - ひずみ関係

